

平成 28 年度 神奈川県立舞岡高等学校学校評価報告書 目標設定

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	生徒の学習意欲を高め、育成すべき資質・能力を踏まえた教育課程編成に取り組むとともに、課題解決に向けた主体的・協働的で、能動的な学びへと授業を改革し、学びの質を高め、その深まりを重視する組織的な授業改善を行う。	平成 30 年度入学生に向けた生徒の学習意欲を高め、育成すべき資質・能力を踏まえた教育課程編成の原案を作成する。	学習支援グループが中心となり、キャリア支援グループや各教科と連携を取りながら、原案を作成する。	平成 30 年度入学生に向けた生徒の学習意欲を高め、育成すべき資質・能力を踏まえた教育課程編成ができたか。
2	(幼児・ 児童・) 生徒指導・ 支援	①生徒の規範意識の醸成と基本的な生活習慣の定着を図り、生徒一人ひとりの個に応じた支援体制の充実を図り、自他の大切さを認める人間性、社会性を育む。 ②生徒会活動・部活動の活性化を図り、生徒の自主性、意欲を高める。	①落ち着いた学習環境を目指し、遅刻や身だしなみの改善を図る。 ②部活動の充実を図る取り組みを推進する。	①生徒の規範意識の醸成を行うため、教員の共通理解を図り、遅刻者や身だしなみの指導に取り組む。 ②部活動への興味、関心を持たせる工夫に取り組む。	①遅刻者への対応を検証し、昨年度の数値より 5%減少させることができたか。 ②部活動加入率について昨年度の数値(73.7%)を維持向上できたか。
3	進路指導・ 支援	「進学先の向こうにある社会」を意識させ、主体的に職業や生き方についての自覚を促すとともに生徒の希望進路が実現できるキャリア教育を行う。	生徒が主体的、積極的に取り組めるキャリア教育の構築を図る。	「第一希望の進路実現」に向けて、生徒が主体的・積極的に学習できるよう放課後自習室等の整備とその活用を推進する取り組みを行う。	生徒の自習室の利用頻度を高める取り組みができたか。

4	地域との協働	<p>① Web ページなど様々な広報媒体を使って、県民にわかりやすい情報提供に努める。</p> <p>② 分教室や地域との連携事業や奉仕活動などを通して、生徒に共生の意識を育成する。</p>	<p>① Web ページを通して、県民や地域に広報する機会を確保する。</p> <p>② 生徒に地域連携や奉仕活動を通して共生の意識を持たせる。</p>	<p>① 月に1回程度、年間を通じて10回の本校 Web サイトの更新を図る。</p> <p>② 地域連携の調整・確認を組織的に行い、年間を通して地域連携や奉仕活動を計画し、実施する。</p>	<p>① 年間10回の更新ができたか。</p> <p>② 年間を通して地域連携や奉仕活動を計画通りに実施することができたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>① 学習環境の整備を推し進めるとともに、災害時に備えた防災体制の充実を図り、安心・安全で信頼される学校作りを推進する。</p> <p>② 個人情報の取扱いについての研修等を通じてセキュリティ危機管理意識の向上と啓発に努めるとともに、事故・不祥事防止に取り組む。</p>	<p>① 定期的な施設点検等を行い、破損・不具合の発見・修理を行う。</p> <p>② 研修会を通して、個人情報の取り扱いなどセキュリティ上の認識を高める。</p> <p>③ 入試選抜の事故防止のための体制を再構築する。</p>	<p>① 月に1回程度、担当者による呼びかけや点検を行い、破損・不具合の発見に努め、修理を行う。また事務室の担当と連携し、適切な執行に努める。</p> <p>② 年6回の研修会を開催し、セキュリティの認識を高める。</p> <p>③ 入試選抜の体制・マニュアルの検討を行い、教員間の共通理解を図る。</p>	<p>① 担当者の呼びかけや点検により、校内の施設・物品のすみやかな修理・更新等が行えたか。</p> <p>② 研修会を開催することができたか。</p> <p>③ 入試選抜における事故防止に努めることができたか。</p>